

「リハビリ中止基準」への 意欲改善

リハビリテーション技術科

櫻井 亮佑

小林 琴音

奥田 真由美

リハビリ中止基準とは

リハビリの中止基準

1 積極的な訓練を行わない方がよい場合

- ①安静時の脈拍数が120回／分以上の場合
- ②安静時の収縮期血圧が200mmHg以上の場合
- ③安静時の拡張期血圧が120mmHg以上の場合
- ④現在、労作性狭心症の方
- ⑤心筋梗塞発症直後(1ヵ月以内)の方
- ⑥心房細動以外の著しい不整脈がある場合
- ⑦訓練実施前にすでに動悸、息切れ、胸痛のある場合

2 運動の中で訓練を中止する場合

- ①運動時の脈拍数が140回／分以上になった場合
- ②運動時の収縮期血圧が40mmHg以上上昇した場合
- ③運動時の拡張期血圧が20mmHg以上上昇した場合
- ④運動によって10回／分以上の不整脈が出現した場合
- ⑤中等度以上の呼吸困難、めまい、吐き気、狭心痛を生じた場合

3 いったん途中で訓練を中止して、回復後に再開する場合

- ①脈拍数が運動前の30%を超えた場合
※ただし、2分間の安静をとり10%以下に戻らない場合は、以後のリハビリを中止するか、また、きわめて軽労作のものに切り替える
- ②脈拍数が120回／分以上になった場合
- ③10回／分以上の不整脈が出現した場合
- ④軽い動悸、息切れなどの症状を訴えた場合

4 その他に注意すること

- ①下肢の浮腫が増加している時
- ②食欲不振や空腹などの時
- ③倦怠感がある時
- ④体重が増加している時
- ⑤血尿が出現した時

リハビリを行う為の基準を明確化したもの

把握していないと患者様に負担をかけてしまう可能性が…

現実は…

どこまで正確に
把握しているか…

咄嗟の事態が
起きたとき
思い出せるか…

問題把握

まずはアンケートを実施

意識

内容把握

現状の取り組みへの理解

リハビリ時に確認したか

今回、業務改善でリハビリ中止基準について取り上げることにしました。
そこで、皆様がどの程度中止基準について意識しているかを確認させていただ
くためにアンケートにご協力をお願いいたします。

(1) リハビリ中止基準について普段どの程度意識していますか？

- | | |
|----------|-----------|
| ①全くしていない | ②あまりしていない |
| ③たまにしている | ④常にしている |

(2) リハビリ中止基準をどの程度覚えてていますか？

- | | |
|------------|------------|
| ①全く覚えていない | ②あまり覚えていない |
| ③ある程度覚えている | ④完璧に覚えている |

(3) リハビリ室にリハビリ中止基準について書かれた紙が貼ってあります
が、場所は知っていますか？

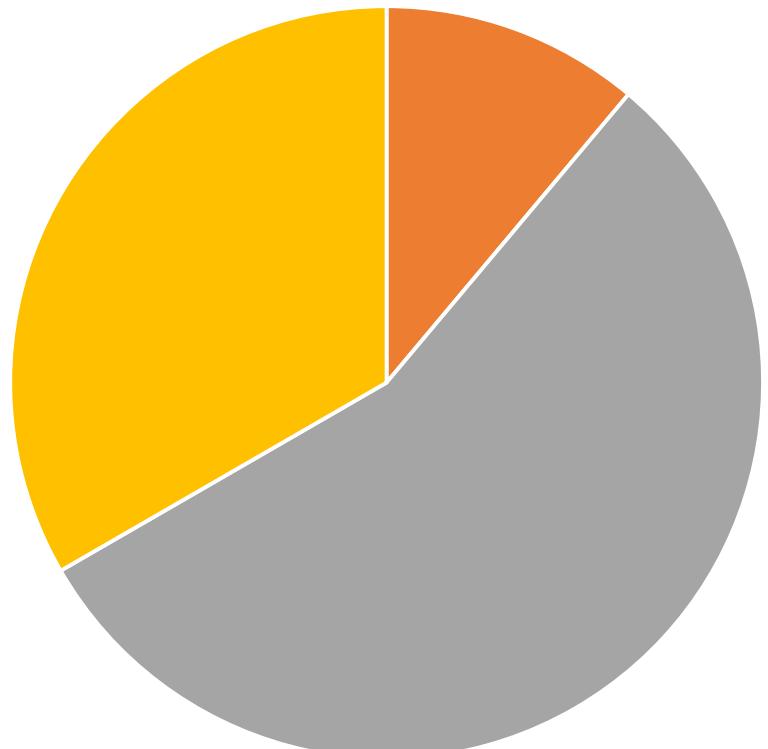
はい　　いいえ

(4) 必要に応じてリハビリ中止基準を確認したことがありますか？

はい　　いいえ

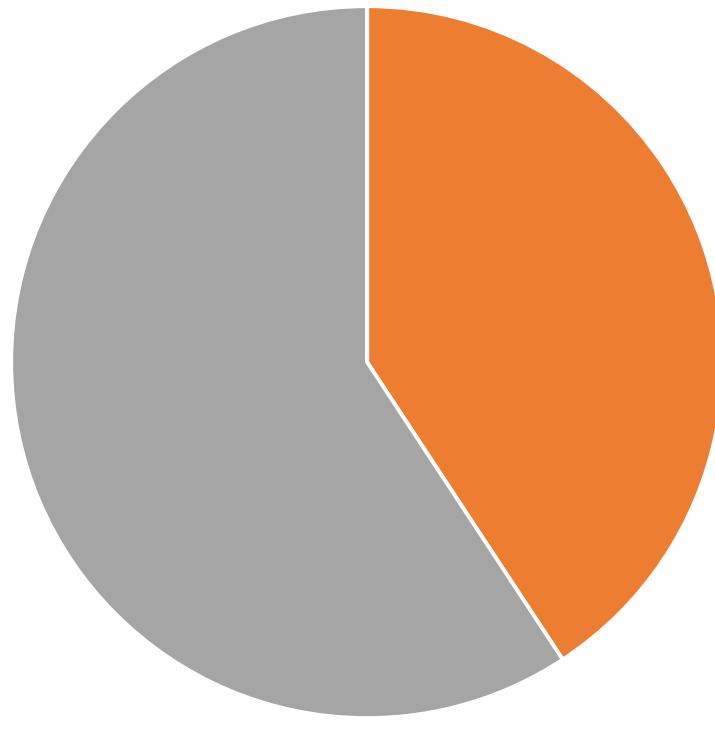
初回アンケート結果

1回目 中止基準を意識しているか



■全くしていない ■あまりしていない ■たまにしている ■常にしている

1回目 内容を把握しているか



■全く覚えていない ■あまり覚えていない
■ある程度覚えている ■完璧に覚えている

意識している人もいるがそうでない人も…

内容を完全に把握している人はいない

実施した取り組み

- ・テストやアンケートを実施し、中止基準に対しての意識確認
→どの程度把握出来ているかを把握する
- ・ラミネートした中止基準が記載されたものの配布
→鞄のポケットに収まるような大きさに
- ・リハビリ室に掲示してあるものより見やすく、多くする
→掲示数を3枚から6枚へ

テスト結果

リハビリの中止基準 確認テスト

1 積極的な訓練を行わない方がよい場合

- ①安静時の脈拍数が()回／分以上の場合
- ②安静時の収縮期血圧が()mmHg 以上の場合
- ③安静時の拡張期血圧が()mmHg 以上の場合
- ④現在、()の方
- ⑤()発症直後(1ヵ月以内)の方
- ⑥心房細動以外の著しい()がある場合
- ⑦訓練実施前にすでに(、 、)のある場合

2 運動の中で訓練を中止する場合

- ①運動時の脈拍数が()回／分以上になった場合
- ②運動時の収縮期血圧が()mmHg 以上上昇した場合
- ③運動時の拡張期血圧が()mmHg 以上上昇した場合
- ④運動によって()回／分以上の不整脈が出現した場合
- ⑤中等度以上の()、()、吐き気、狭心痛を生じた場合

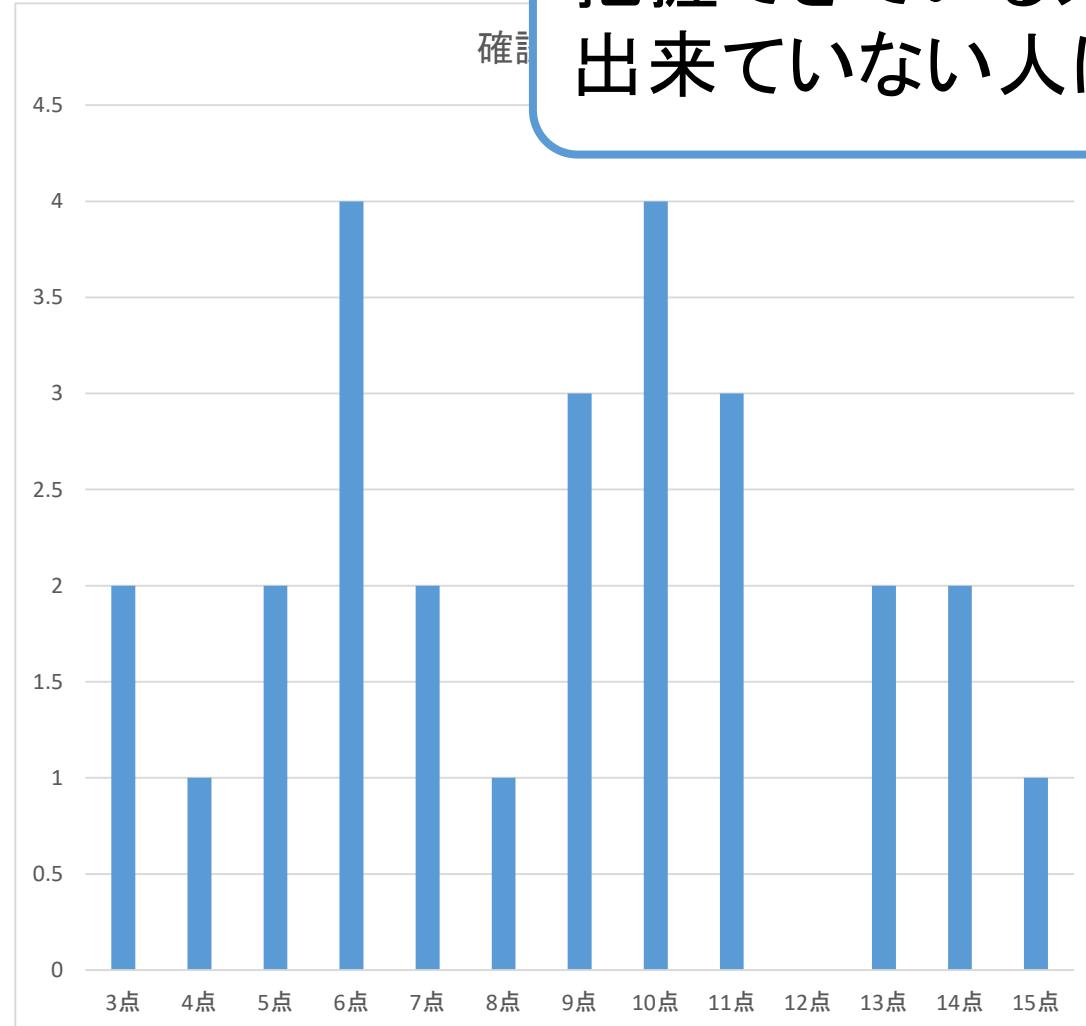
3 いったん途中で訓練を中止して、回復後に再開する場合

- ①脈拍数が運動前の()%を超えた場合
- ※ただし、2分間の安静をとり、10%以下に戻らない場合は、以後のリハビリを中止するか、また、きわめて軽労作のものに切り替える
- ②脈拍数が()回／分以上になった場合
- ③()回／分以上の不整脈が出現した場合
- ④軽い動悸、息切れなどの症状を訴えた場合

4 その他に注意すること

- ①下肢の浮腫が増加している時
- ②食欲不振や空腹などの時
- ③倦怠感がある時
- ④体重が増加している時
- ⑤血尿が出現した時

把握できている人と
出来ていない人に別れた



アンケート2回目

業務改善アンケート

配布した中止基準のカードについて質問です。

- (1) 配布したカードを持ち歩いていますか？

はい　いいえ

- (2) 「いいえ」と回答した方へ
持ち歩いていない理由を教えてください。

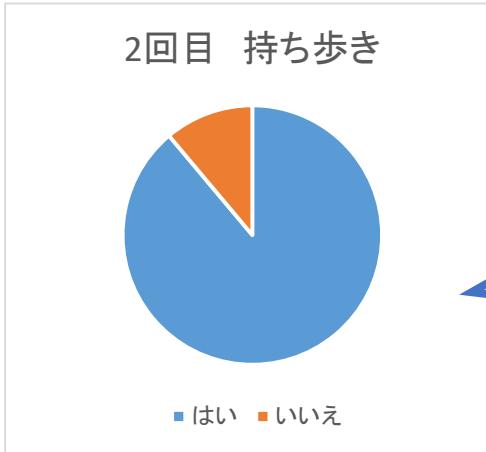
- (3) 実際にカードを確認したことはありますか？

はい　いいえ

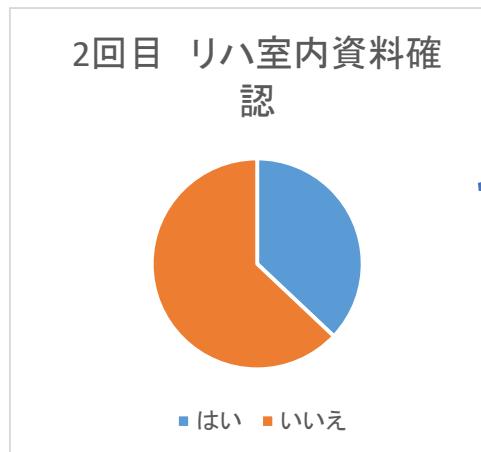
- (4) リハビリ室内に掲示した中止基準を活用したことがありますか？

はい　いいえ

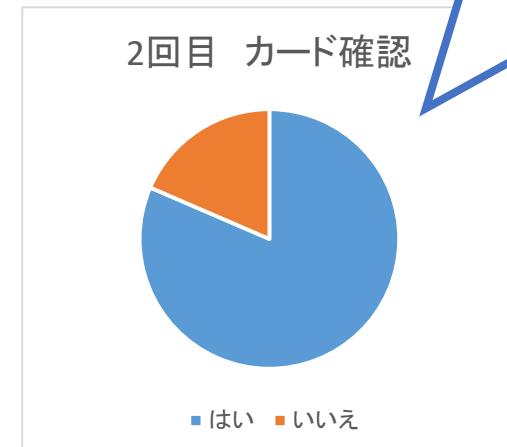
- (5) (3)(4)で「はい」と回答した方へ
確認した場面の具体的な内容を教えてください。



- ・以前から使用しているカードを使ってる人→2名
- ・無くしてしまった→1名



患者様のバイタルチェック時に
利用している人が多い



アンケート結果から行ったこと

- ・カードを無くしてしまった人への再配布
- ・リハビリ中に中止基準を意識するよう、張り紙を扉に掲示した

アンケート3回目

業務改善アンケート

中止基準に関する質問です。

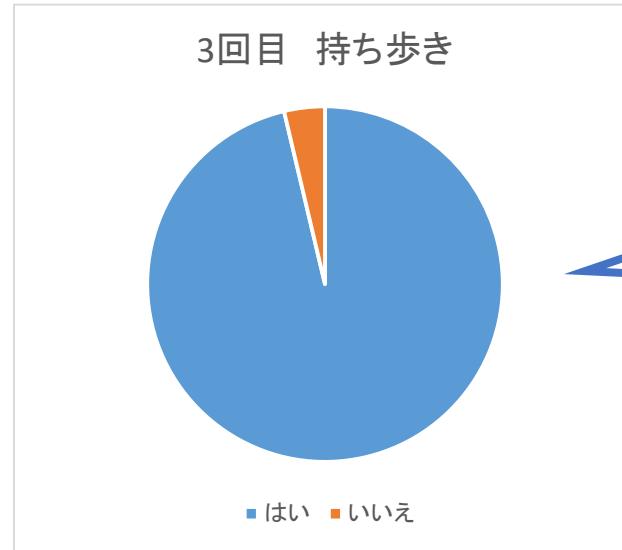
- (1) 中止基準のカードを持ち歩いていますか?
(大きいもの、小さいもの含めて)

はい　　いいえ

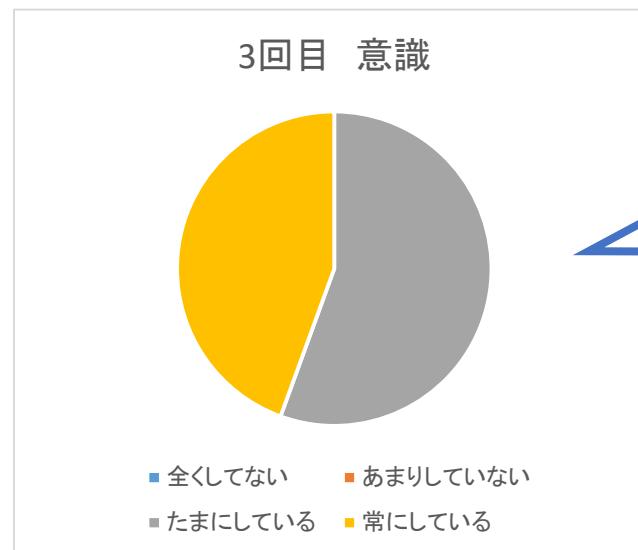
- (2) 「いいえ」と回答した方へ
持ち歩いていない理由を教えてください。

- (3) リハビリを行う際、中止基準を意識していますか？

- | | |
|----------|-----------|
| ①全くしていない | ②あまりしていない |
| ③たまにしている | ④常にしている |



無くしてしまった→1名



意識している人の
割合が増加

アンケート4回目

業務改善アンケート

配布した中止基準のカードについて質問です。

- (1) 配布したカードを持ち歩いていますか？

はい　　いいえ

- (2) 「いいえ」と回答した方へ
持ち歩いていない理由を教えてください。

- (3) カードを配布した当初（7月初め）と比較して、中止基準に対しての
意識は強くなりましたか？

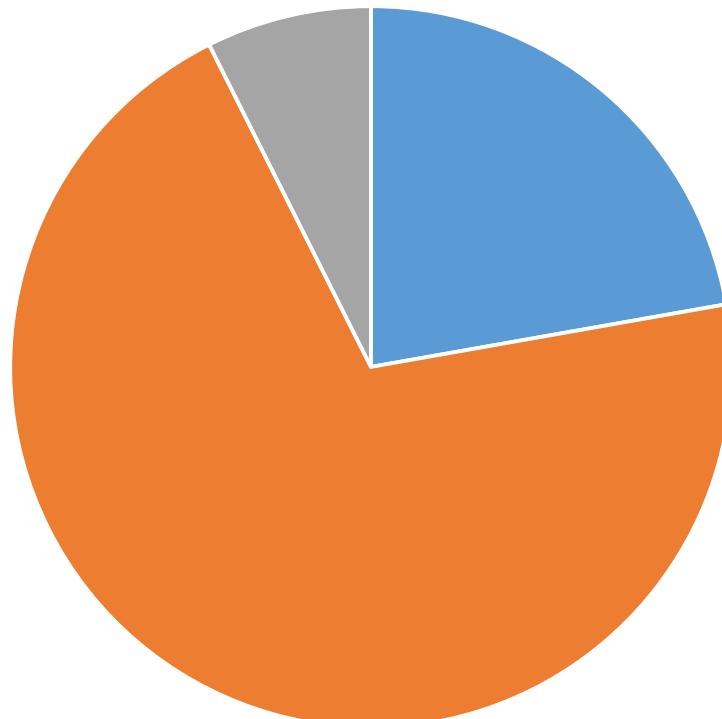
大変強くなった　　多少強くなつた

あまり強くなつていない　　全然強くなつていない

- (4) 中止基準を活用したことがありますか？

はい　　いいえ

4回目 意識



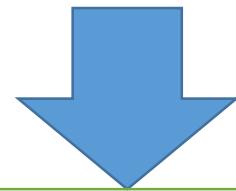
■ 大変強くなつた ■ 少し強くなつた ■ あまり強くなつていない ■ 全然強くなつていない

結果

- ・カードの持ち歩き率が100%に上昇
- ・期間中にリハビリ中の大きな事故は発生しなかった
- ・9割の職員は意識が高まった

反省点

- ・一部の職員で意識に大きな改善はみられなかった



改善点

- ・朝礼で中止基準の読み上げ
- ・テスト実施回数の増加

今後について・・・

- ・リハビリ中止基準は患者の安全を守るためにも重要な要素！
- ・今後も継続して意識していくように取り組む必要がある